

◆1・2年生ティーアップベースボール大会規則

1・2年生ティーアップベースボールリーグ戦は、1・2年生および、保育所・幼稚園年長児、年中児に野球の楽しさを知ってもらい、かつ富山少年野球リーグの部員募集の契機として野球技能、野球ルールの知識の向上を目的としています。父兄の間で熱が入りがちになりますが、あくまでも楽しく試合をして頂きますようお願いいたします。※別図参照

1. 1チーム6人編成で塁間15mの正三角で構成する。1塁ベースは守備用と走者用各々2個のベースを並列する。(ソフトボール用ベース使用可) 1塁、3塁ベースは既定の四角ベース、本塁は、既定の本塁ベースを設置する。ティースタンドは、本塁ベースより0.5m後方に設置する。
2. 打者は、ティーアップ用既定のボールとバットを使用する。
3. ボールは、リーグが指定したゴム製のケンコーボールを使用する。
4. 本塁ベースより半径5mの半円を描き、円内に止まったボールはファウルとする。
5. 攻守交代は打者が6人全員打ち終わった時点(一巡)で攻守交代とする。(3アウトになっても、占有塁は保障される。)
6. 1塁、3塁打者は、打者が打つ前に離塁してはいけない、その場合は、打ち直しとする。
7. ボールデッドゾーンは、フェールラインより横10m幅(ただし、グラウンドのスペースの関係で幅が確保できない場合は現状に適用する)とする。
8. 守備者は、グラブを着用すること。
9. 試合中ベンチに入ることができる人員数は、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、父母会代表者1名、登録選手とする。監督、コーチは、インプレイ時ボールデッドラインより中に入ることはできない。その他の方は、ベンチ内並びにボールデッドラインより中に入ることはできない。但し夏場の健康保持等で、予め主審及び相手監督に許可を得た父母会の方はベンチ入り可能とする。
※監督はユニホーム着用の有無に関わらず、試合中、リーグより配布された監督証を着用する。
10. ボールデッドラインよりボールが出た場合の安全進塁権は、レギュラールールに準ずる。
11. 投手板はホームプレートより14mとし、半径1mの円を描く。
12. 投手は、打者が打つまでピッチャーゾーンの円内、捕手はキャッチャーゾーンの円内を出てはいけない。
13. ホームプレートより半径5mの半径内でのゴロの処理はしても良いが、その場合はファウルとする。打者がボールに触れた場合、明らかにファウルボールの場合は打ち直しとするが、主審が打球と判断した場合にはインターフェアとし打者をアウトとする。
14. 打者はティースタンドの上部ゴム製部分を打って、フェアゾーンにボールが入ればインプレイとする。但し、故意の軽打はファールとみなし、打ち直しとする。
15. ピッチャーゾーン内の投手にボールが返った時点で審判はボールデッドを宣告し、その時点でボールデッドが成立する。(注意：投手は両足が完全に円内に入っている状態とし、審判員は注視して的確な判断を下す。)
16. 1・3塁間と3塁・ホーム間7.5mの中間点に横断線を敷き、ボールデッド(第15項)が成立した時点で走者が横断線を完全に越えていたら進塁を認める。横断線を越えていなければ帰塁を命ずる。(注意：走者が横断線を通過しているか、体の一部が横断線上に存在していないかを、審判員は注視して的確な判断を下す。)
17. 打球がホームランラインをノーバウンドで超えた場合はホームランとする。白線上の場合は超えていないと判断する。地面にバウンドして超えた場合はツーベースとし、ボールデッドとする。但し、最終打者の場合はボールデッドとせずインプレイとする。
18. 最終打者のアウトは、フライをキャッチする。または守備者がボールを保持した状態で本塁ベースを踏んでアウトとなる。(注意：タッチアウトは無効とする。)
19. 最終打者時の各走者は、守備側が本塁を踏んでアウトとする前に生還した場合、得点とする。
20. 守備者がフェアゾーン内でフライ・ライナーを捕球した後、ボールデッドライン、ホームランラインを超えた場合はアウトとする。
21. 守備者は捕球した時点で、片足でもボールデッドライン、ホームランラインを超えている場合、ファウル、ホームランとする。
22. 打順間違いが発生した場合はレギュラールールに従う。

23. 試合は、点数差に関係なく5イニング終了まで続行する。時間制限は設けない。但し、日程など関係から決着せざるを得ない場合は、3イニングを終了していれば試合成立とする。原則は、再試合とする。
24. リーグ戦においては、同点は引き分けとする。プレイオフ、決勝戦においては、同点の場合は延長戦を設ける。勝敗を決するまで延長戦を行う。リーグ戦成績は勝率で決するが、勝率が同じ場合はプレイオフとする。
25. その他は、3・4年ティボールルールを適用する。
26. リーグ戦の開始について（前期6月～8月）（後期9月～10月）
 ※5月、8月に、リーグ理事会後担当者会議を開催し、打ち合わせを行う。
 ・場所：各小学校グラウンド、または公園等。（使用可能なグラウンドの確認）
 ・各リーグのまとめ役は、理事会にて決定する。
 （グラウンドの手配、試合の段取り、審判の打ち合わせ等）
 ・タイガーリーグ、ライオンリーグのチーム確認
27. リーグ戦の運営について
 ・指導者氏名、連絡先確認
 1・2年生の、ティーアップベースボールの基本的な運営は事務局で行いますが、リーグ戦の運営は各リーグでお願いします。
 ・試合会場の準備及び後片付け
 ・球審・塁審については、両チームで協議し相互で充てて下さい。
 （本審、1塁塁審、3塁塁審、ホームランゾーン線審 計4名）
 ※特に、球審は打者が打撃時にバットを投げた時、捕手の保護に留意すること。
28. リーグ戦結果について
 ・リーグ線で勝ったチームは「1・2年生試合結果表」に記入して、2か所へ送信して下さい。
 ①17時までに読売新聞へFAX。 読売新聞社FAX番号：076-441-2880
 ②リーグへはリーグ名、チーム名、試合名称、試合点数、勝敗をメールまたはFAX。
 メールアドレス：shonen@cyuosc.com FAX：076-421-3722
 ③1・2年ティーチューリップテレビ杯トーナメント大会結果は、②のみ送信してください。
29. グラウンドの規則

